

資料2

六ヶ所村風力発電所 風車倒壊に関して（ご報告）

2024年2月21日

日本風力開発株式会社

六ヶ所村風車倒壊に関して

皆様に多大なるご心配をお掛けしお詫び申し上げます。

(1) 事故の経緯及び原因

- ① 2003年12月から稼働しております六ヶ所村風力発電所にて、2023年3月17日に風車1基のタワーが破損（タワー途中で折損）し、現地確認した後、直ちに自主的に風車を保安停止しました。
- ② 当該事故発生を受け、事故調査委員会を設置し、経済産業省様からのご指導もいただきながら、原因究明を実施してきました。
- ③ 原因は、工場での溶接部位（力が集中する板厚変化部）の製造不良箇所から疲労亀裂が発生した後、10～15年以上の時間をかけ亀裂が進展し、倒壊に至りました。

(2) 予防保全・再発防止策

- ① 緊急対応として、風車倒壊後、直ちに国内の同型機**189**基の溶接部の点検を実施し、六ヶ所村風力発電所の倒壊した**1**基及び貫通亀裂が発見された**1**基の計**2**基以外の**187**基には問題がないことを確認しました。
※倒壊した風車及び貫通亀裂が発見された風車の**2**基は、昨年撤去済みです。
- ② 当該事故を踏まえ、以下3点の予防保全・再発防止策を策定しました。
 - ・ 定期点検方法の追加（タワー内部・外部共に溶接部の確認及び写真記録）
 - ・ 振動検知の対策（事故前の風車と同様の振動が発生した場合の運用方法）
 - ・ タワー外面部の錆対応（亀裂が無い事を確認し、補修塗装を実施済）
- ③ 事故の原因及び予防保全・再発防止策を、昨年**12月1日**に六ヶ所村議会むつ小川原エネルギー対策特別委員会、並びに各地権者や地元自治会等の関係各所にご説明し、ご理解いただいた後、試運転を実施しております。
今後も、予防保全・再発防止策を確実に実施し、事故防止に努めて参ります。